2027年3月期第2四半期(中間期)決算概況（参考資料）

2026年11月10日

ニチハ株式会社
（ｺｰﾄﾞ番号7943、東証ﾌﾟﾗｲﾑ・名証ﾌﾟﾚﾐｱ）

1．2027年3月期第2四半期（中間期）業績

（1） 連結業績　　（百万円、%）

	2026/3期	2027/3期 上期		前年同期比		期初予想比	
	上期実績	期初予想	実績	金額	%	金額	%
売上高	71,083	68,500	68,285	△2,797	△3.9	△214	△0.3
営業利益	3,494	3,600	3,470	△23	△0.7	△129	△3.6
（営業利益率）	(4.9%)	(5.3%)	(5.1%)				
経常利益	3,701	3,700	3,482	△219	△5.9	△217	△5.9
親会社株主に帰属する中間純利益	2,467	3,600	3,703	+1,235	＋50.1	+103	＋2.9

（注）予想は2026年5月13日発表の期初予想。

（2） 連結業績の説明

① 市場環境等

当社製品の主要マーケットである国内住宅市場につきましては、国内の新設住宅着工戸数が、当中間連結会計期間で37万９千戸と前年同期比11.3%の大幅増加となりました。しかしながら、窯業系外装材業界全体の販売数量については、当中間連結会計期間で11,999千坪と前年同期比0.8%（JIS規格対象外の12mm厚製品を含む基準）の減少となりました。これは、住宅着工と外装材販売にはタイムラグがあり、2026年１月～３月の住宅着工がマイナス14.3%の大幅前年割れになった影響が、当中間連結会計期間に現れたことによるものであります。
他方、海外主要マーケットである米国の非住宅市場につきましては、建設コストの高止まりや金利高を受けて投資を控える動きが一部に出る等、やや弱含みの状況となりました。

② 売上高

国内外装材事業が住宅市況低迷の影響を受けたものの、積極的に価格改定に取り組んだことにより増収となりました。一方で、米国外装材事業では、住宅市場向け汎用外装材事業からの撤退に伴い減収となりました。以上により、全体の売上高は682億85百万円と前年同期比27億97百万円（△3.9%）の減収となりました。

③ 損益

国内における価格改定効果や、米国における不採算事業からの撤退などの増益要因があった一方で、中東情勢混乱等を背景に、エネルギー・資材価格や物流費等の上昇による影響を受け、営業利益は34億70百万円と前年同期比23百万円（△0.7%）の減益、経常利益は為替差損が増加したことも加わり34億82百万円と同2億19百万円（△5.9%）の減益となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、中国子会社において、事業再編の一環として固定資産の売却益を特別利益に計上したこと等により、37億３百万円と同12億35百万円（50.1%）の増益となりました。

④ 配当

中間配当金につきましては、本年7月31日発表の配当予想の修正のとおり、１株当たり配当64円（普通配当57円+記念配当7円）とさせていただきます。

2．2027年3月期通期業績予想

（1） 連結業績　　（百万円、%）

	上期			通期	通期				
	実績	前年同期比		期初予想（注）	修正予想（注）	前期比		期初予想比	
		金額	率 %			金額	率 %	金額	率 %
売上高	68,285	△2,797	△ 3.9	141,000	141,000	△2,740	△ 1.9	+0	+0.0
営業利益	3,470	△23	△ 0.7	9,600	7,700	△1,655	△ 17.7	△1,900	△ 19.8
（営業利益率）	(5.1%)			(6.8%)	(5.5%)				
経常利益	3,482	△219	△ 5.9	9,800	7,900	△2,346	△ 22.9	△1,900	△ 19.4
親会社株主に帰属する当期（中間）純利益	3,703	+1,235	+50.1	8,000	6,600	+4,113	+165.4	△1,400	△ 17.5
1株当たり配当金	64円	+7円	+12.3	121円	121円	+7円	+6.1	0円	－

（注）通期期初予想：5月13日発表（1株当たり配当金は7月31日修正発表）
通期修正予想：11月10日発表

（2） 連結業績予想の説明

2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高は、前回発表予想を据え置きといたします。一方、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益は、上期に減益要因となったエネルギー・資材価格や物流費等の上昇が、下期も続くことを見込み、各利益が前回発表予想を下回る予想としております。

（3） 期末配当予想

業績予想は下方修正いたしますが、安定配当を重視し、年間配当予想（記念配当7円を含む1株当たり121円）については前回発表予想を据え置いております。

3. 決算関係データ

（1） セグメント別売上高の主要内訳 （百万円）

	2027/3期			2027/3期		
	上期実績	前期同期比		通期予想（注2）	前期比	
		金 額	%		金 額	%
売上高	68,285	△2,797	△3.9	141,000	△2,740	△1.9
外装材事業	63,596	△2,770	△4.2	131,600	△2,508	△1.9
国内	50,993	＋723	＋1.4	103,000	＋905	＋0.9
窯業系外装材	45,962	＋910	＋2.0	93,700	＋1,300	＋1.4
金属系外装材	5,031	△187	△3.6	9,300	△395	△4.1
海外	12,603	△3,494	△21.7	28,600	△3,413	△10.7
米国	11,383	△3,636	△24.2	25,800	△3,784	△12.8
（百万US$）	(71.9)	(△ 29.2)	(△ 28.9)	(162.0)	(△ 35.7)	(△ 18.1)
中国他	1,220	＋141	＋13.2	2,800	＋370	＋15.3
その他（注1）	4,688	△26	△0.6	9,400	△232	△2.4

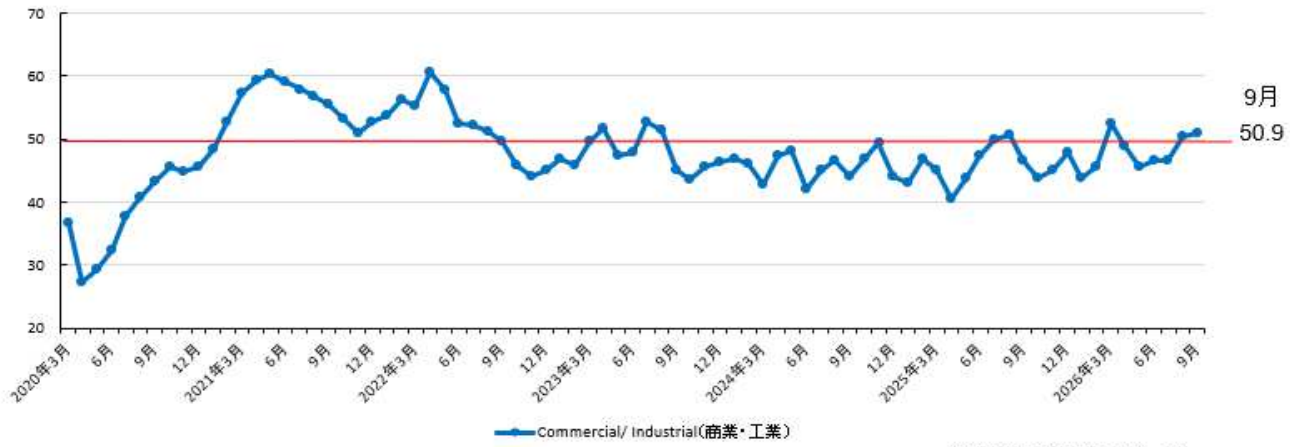
（注）1. その他の内訳は、繊維板事業、工事事業、FP事業、その他事業。
2. 通期予想は2026年11月10日の修正予想。

（2） 国内市場四半期別推移

	年度	上期			下期			通期
		第1四半期	第2四半期	計	第3四半期	第4四半期	計	計
住宅市場								
新設住宅着工戸数 千戸	2025	155 （△25.6）	185 （△8.9）	340 （△17.4）	193 （△2.1）	177 （△14.3）	370 （△8.3）	711 （△12.9）
	2026	186 （＋20.2）	192 （＋3.8）	379 （＋11.3）	－	－	－	－
うち 一戸建 千戸	2025	66 （△22.7）	83 （△6.8）	150 （△14.6）	86 （△3.9）	77 （△8.2）	164 （△6.0）	314 （△10.3）
	2026	82 （＋23.6）	85 （＋2.3）	168 （＋11.7）	－	－	－	－
窯業系外装材業界								
業界全体のサイディング販売数量 千坪 [日本窯業外装材協会] (JIS規格対象外の12㎜厚製品を含む基準)	2025	6,163 （△0.7）	5,935 （△3.3）	12,098 （△2.0）	6,447 （△4.3）	5,951 （△2.8）	12,399 （△3.6）	24,498 （△2.8）
	2026	6,001 （△2.6）	5,998 （＋1.1）	11,999 （△0.8）	－	－	－	－
当社								
窯業系サイディング販売数量 千坪 (JIS規格対象外の12㎜厚製品を含む基準)	2025	3,605 （△2.6）	3,464 （△5.5）	7,070 （△4.0）	3,753 （△6.2）	3,509 （△3.2）	7,263 （△4.8）	14,333 （△4.4）
	2026	3,498 （△3.0）	3,522 （＋1.7）	7,020 （△0.7）	－	－	－	－
業界シェア %	2025	58.5 (△ 1.1p)	58.4 (△ 1.3p)	58.4 (△ 1.3p)	58.2 (△ 1.2p)	59.0 (△ 0.3p)	58.6 (△ 0.7p)	58.5 (△ 1.0p)
	2026	58.3 (△0.2p)	58.7 (＋0.3p)	58.5 (＋0.1p)	－	－	－	－

（3） 米国市場動向

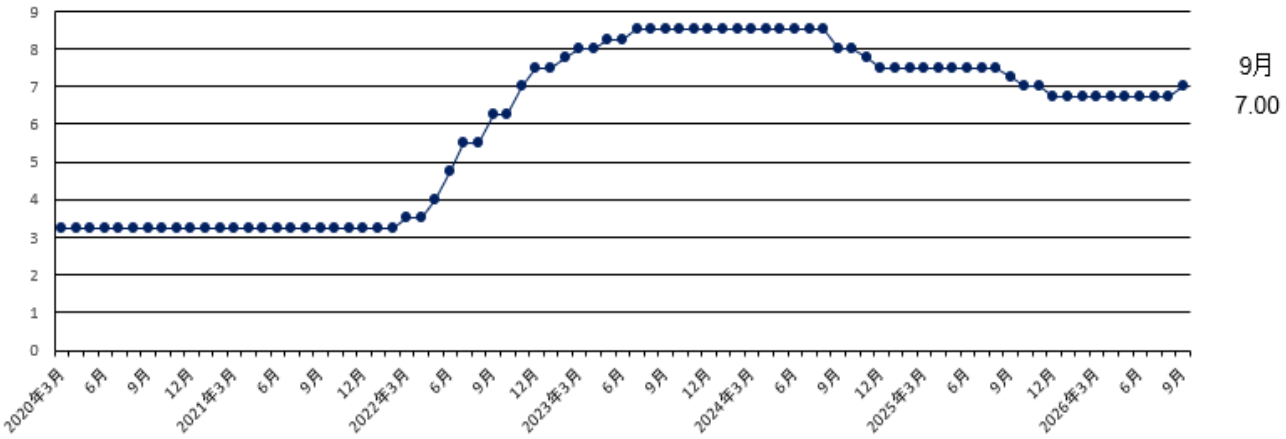
①Architecture Billings Index (ABI)



（出所）米国建築設計士協会（AIA）

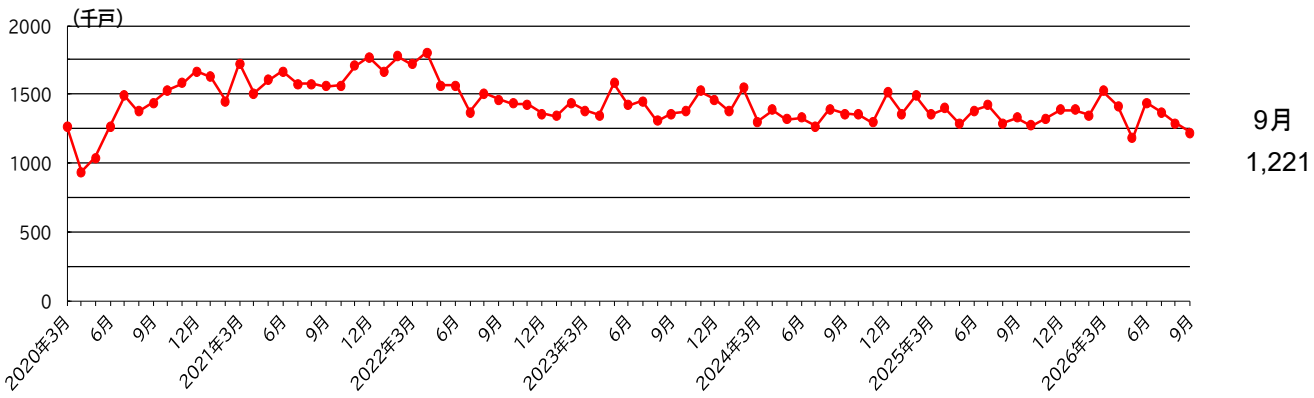
注）ABIは米国建築士協会（AIA）が商業用ビル等の設計景況感を調査したデータです。商業・工業用建物等の建設を約9～12ヶ月先行する指標で、50を超えれば増加傾向、50を下回れば減少傾向となります。
ここでは商業・工業のデータを掲載しています。

②銀行プライムローン金利



（出所）連邦準備制度理事会（FRB）

③住宅着工件数



（出所）米商務省